

4. 論理回路トレーナーの準備

4.1 論理回路トレーナーの構成と各部名称

図2に論理回路トレーナーの外観を示す。中央にあるブレッドボード上に論理ICなどを装着し、論理ICの各端子を配線で接続することで、論理回路を製作する。入力データの切り替え（0 か 1 か）には、データスイッチを使用する。出力内容の確認には、発光ダイオードを使用する。

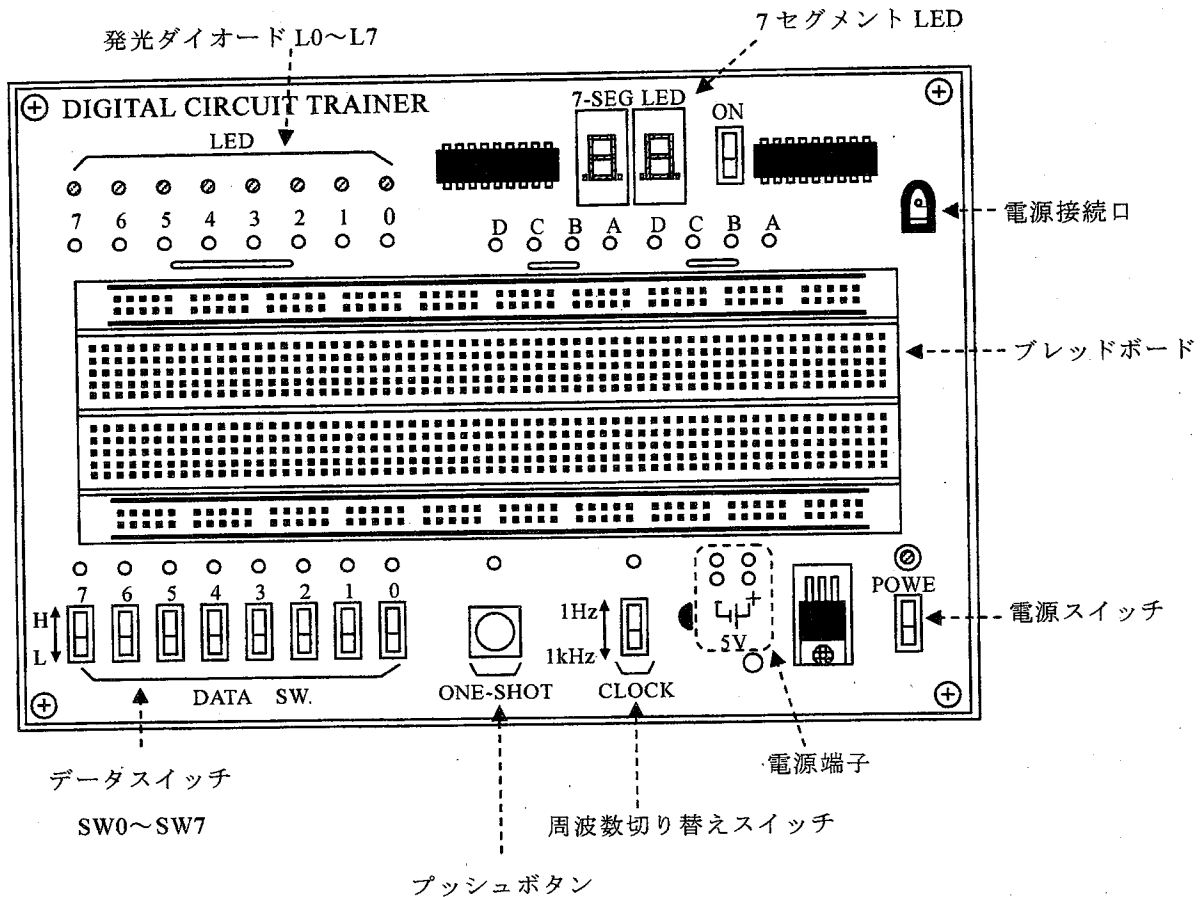


図2 論理回路トレーナーの外観図

4.2 電源の確認

- (1) 付属のACアダプターの電源プラグを電源(コンセントまたはOAタップ)に接続する。
- (2) ACアダプターの接続端子を論理回路トレーナーの電源接続口に接続する。
- (3) 論理回路トレーナーの電源スイッチをON(上側)にする。
- (4) 電源ランプが点灯していることを確認する。

4.3 ジャンパー線を使う際の注意点

- (1) 端子に差し込むときや取り外すときは、ピンのそばの黒いゴムの部分をつまむ(図3)。
- (2) ブレッドボードの穴やスイッチの端子に対してまっすぐ、ゆっくり差し込む(図3)。
- (3) 差し込めないときは、力を入れて差し込まず、ピンの場所を少し変更してみる。
- (4) 取り外すときも、まっすぐに引き抜く。